

5 DNA

イノベーションを世界へ発信する
シンプレクスの5つのDNA



Hello world, Hello innovation.

シンプレクスは世界に向けてイノベーションを発信する
金融機関の収益ビジネスに特化した金融ハイテクカンパニーです

株式会社シンプレクス・ホールディングス 東証1部：4340

代表者プロフィールと沿革



金子 英樹

(昭和38年9月1日生、48歳)

株式会社シンプレクス・ホールディングス
株式会社シンプレクス・コンサルティング
代表取締役社長

- アンダーセンコンサルティング
(現アクセンチュア)
金融機関向けシステムコンサルティング
- ソロモン・ブラザーズアジア証券
(現シティグループ証券)
トレーディング部門システム統括
- シンプレクス・ホールディングス設立 (設立当時33歳)
(旧シンプレクス・テクノロジー)

ソロモン・ブラザーズの最先端技術を誇るシステム
チームのメンバーと共に1997年に創業

シンプレクス・ホールディングス沿革

- 1997年9月
⇒シンプレクス・ホールディングス 設立
(旧シンプレクス・テクノロジー)
- 2002年2月
⇒JASDAQ上場
- 2005年9月
⇒東証一部上場 (会社設立から7年11ヶ月)

- 2010年10月1日
⇒持株会社体制へ移行
新設継承会社としてシンプレクス・コンサル
ティングを設立し、純粹持株会社となる

2011年3月期 連結業績 (実績)

売上高	: 149.8億円
営業利益	: 25.6億円
売上高営業利益率	: 17.1%

事業領域

参入障壁が高い金融フロンティア領域に完全特化

金融

×

IT

ディーリング業務・トレーディング業務に代表される
金融機関の収益業務（フロント）をITの側面から支援する

主要製品と当社シェア

No.1金融ソリューションプロバイダーとしての地位を確立
特に債券・FX取引システムでは圧倒的なシェアを誇る

主力製品における当社シェア

債券取引システム

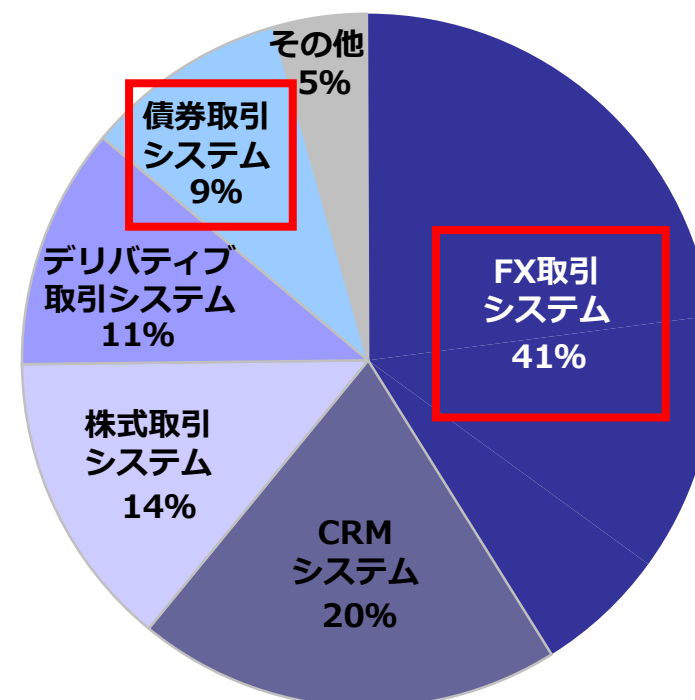
- 大手総合証券：10社中**9**社採用

FX（外国為替証拠金取引）システム

- 大証FX取引所システムを構築 (2009年7月創設)
- 大証FX参加業者：13社中**10**社採用
- くりっく365参加業者：24社中**9**社採用
(2011年4月現在)

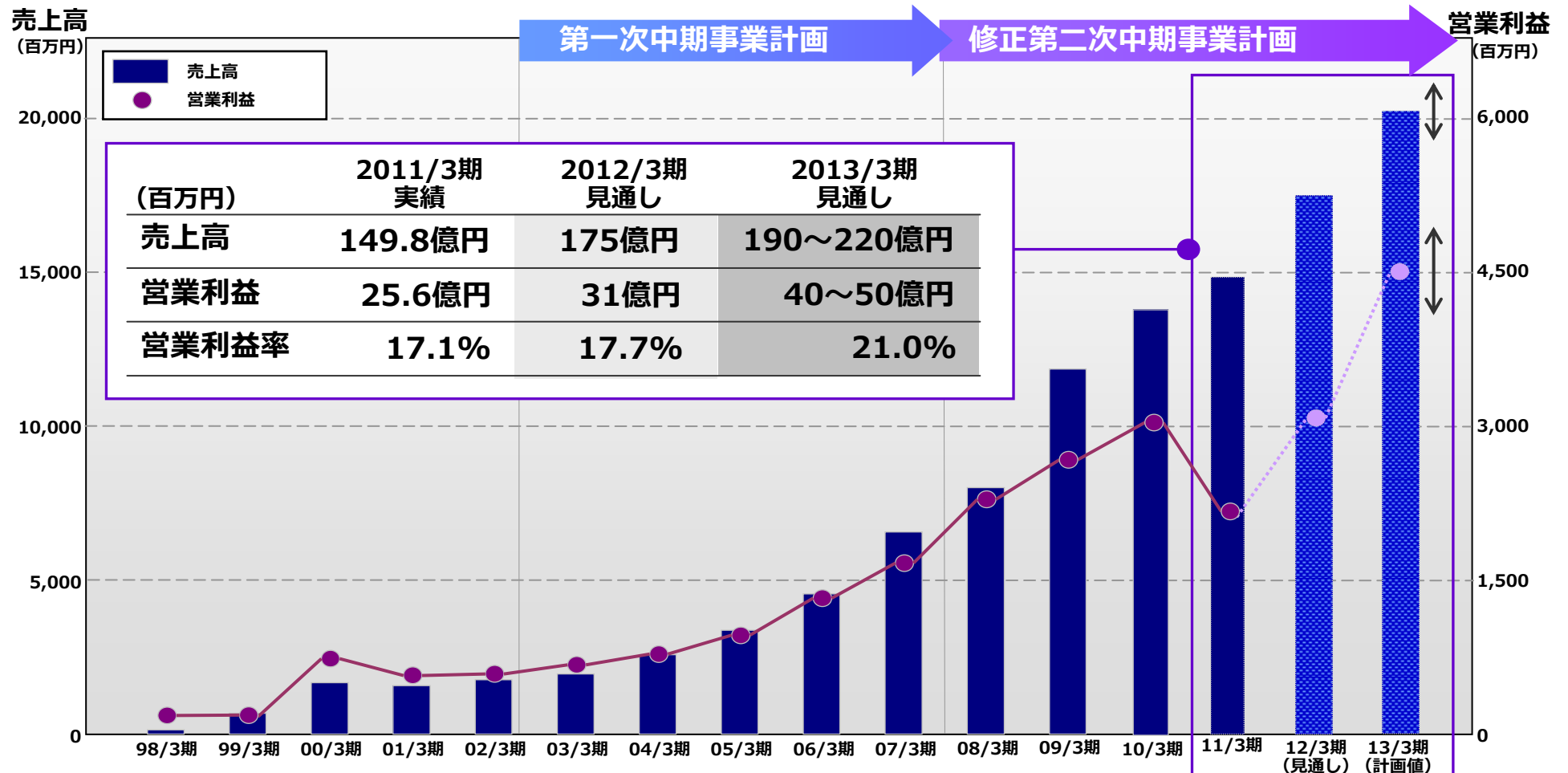
製品別 売上高構成比率

(2011/3期)



創業時からの売上高・営業利益の推移

好不況に左右されずに2010/3期まで9期連続の増収増益を達成
 現在は2011/3期の増収減益を経て、成長軌道の回帰にトライ中



高収益性を支える2つの事業

高度な金融ノウハウ・技術力の提供で断トツの収益力

■ 売上高営業利益率の比較（2011年3月期）

業界平均	NTTデータ	シンプレクス
5.8%	6.7%	17.1%

出典：「2010年版情報サービス産業基本統計調査」ならびに23年3月期決算短信等から当社作成

■ 高収益性を支える2つの事業

受託開発事業：SI

想定売上総利益率
40%

サービス事業：UMS

想定売上総利益率
50～60%

※SIとは：システム・インテグレーション（System Integration）事業の略称です。

※UMSとは：ユニバーサル・マーケット・サービス(Universal Market Service) 事業の略称であり、当社の造語です。

受託開発事業：SIの特長

特定顧客にオーダーメイドのシステムを提供 (例えるなら：自由設計の注文住宅の提供)

一貫開発体制

コンサルティングからシステム開発、運用・保守までを一貫して自社が担当

システム著作権の保持

システムの付加価値を顧客に理解してもらうことで著作権を獲得することに成功

コストパフォーマンスの高い一貫開発体制

お客様のIT投資ニーズ

Simplex

コンサルティング

システム開発

システム運用・保守

システム高度化に向けた提案

お客様の収益力最大化をフルサポート

+

システム著作権の獲得

※著作権を当社が保持することで再利用が可能となるシステム部品群のことを「シンプレクス・ライブラリ」と呼んでいます。

サービス事業：UMSの特長

複数顧客に自社企画/開発システムをサービス提供
 (例えるなら：高層タワーマンションの賃貸住宅の提供)

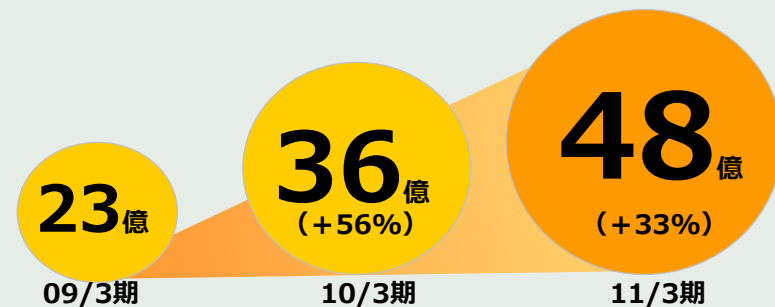
システムをサービス提供

自社システムを継続的にサービスとして貸し出すため収益基盤の安定化を実現

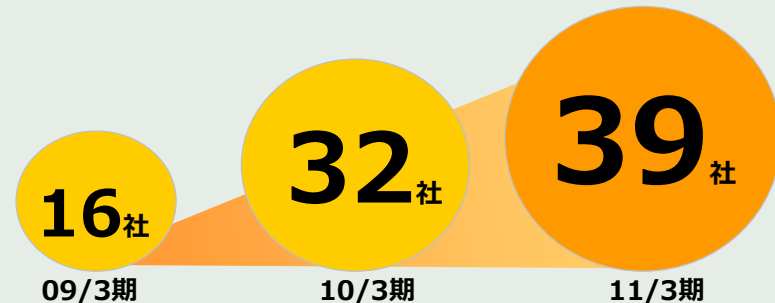
成功報酬型ビジネス

提供サービスの付加価値に応じた成功報酬課金を採用することで高い利益率を実現

■ サービス事業の売上高推移



■ サービス事業の延べ採用社数推移



サービス事業：UMS主力サービスのご紹介

個人投資家向けインターネット取引サービス ～ プロと同等の投資環境を個人投資家の皆様にご提供～

対応商品

- 株式（現物・信用） ■ 先物・オプション
- 外国為替証拠金取引（FX） ■ CFD

対応チャネル

- パソコン／携帯電話／スマートフォン

さらなる高品質・高機能性を実現した
新サービス：Voyager（ボイジャー）を
今年7月より提供開始

導入実績

- 株式（現物・信用）／先物・オプション
野村證券、松井証券、マネックス証券
- 外国為替証拠金取引（FX）
インヴァスト証券、光世証券、コスモ証券
サイバーエージェントFX
ジャパンネット銀行、スター為替証券
住信SBIネット銀行、ソニー銀行
大和証券、野村證券、ひまわり証券
松井証券、マネックスFX、マネックス証券
マネーパートナーズ、三田証券
むさし証券、ゆたか証券、豊商事
- CFD
大和証券

（2011年4月現在 敬称略 会社名50音順）











業績動向について

2011年3月期 決算状況

	期初 通期目標	修正後 通期目標	通期実績	前期比	主な下方修正要因
売上高	165.0億	▶ 150.0億	149.8億	+ 7.3%	大型SI案件の受注不調
営業利益	38.0億	▶ 22.5億	25.6億	- 15.6%	
経常利益	37.5億	▶ 21.8億	25.1億	- 16.4%	新サービス：Voyager (ボイジャー) 向け 研究開発費の追加投資
当期純利益	22.5億	▶ 13.1億	14.4億	- 21.5%	

下方修正の経営責任明確化のため役員賞与を全額カット
1株当たり配当金：480円については修正せず（前期比80円増配）

2012年3月期 決算見通し

	第2四半期目標 (前期比)	通期目標 (前期比)	主な取り組みテーマ
売上高	 76.8億 (+14.6%)	 175.0億 (+16.8%)	
営業利益	 11.2億 (-3.9%)	 31.0億 (+21.0%)	
経常利益	 11.1億 (-1.0%)	 30.8億 (+22.5%)	
当期純利益	 5.7億 (-17.3%)	 17.0億 (+17.4%)	

第2四半期は研究開発費負担等で減益の予想、通期で過去最高益を見込む
1株当たり配当金については500円を予定（前期比20円増配）

足元の動向について

通期業績進捗状況

- 小・中規模（3～5億）規模の案件を中心に受注は順調
- 当1Q時点の通期売上高達成率※は67.7%と高水準
（前1Q時点は60.1%）

最新の重要トピックス

- 新サービス：Voyager（ボイジャー）を7月より提供開始

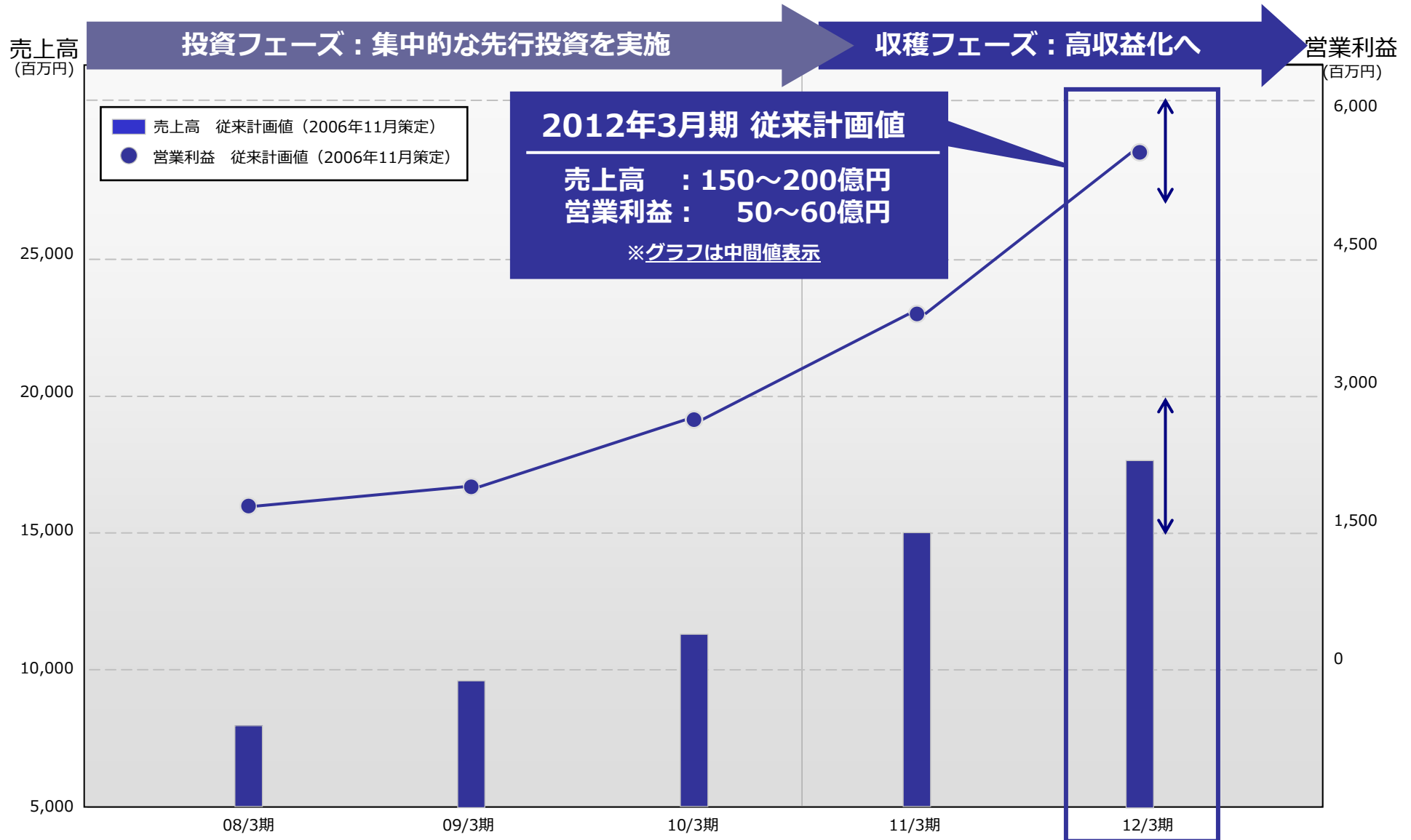
⇒現在の導入実績2社（三田証券様，スター為替証券様）

⇒スター為替証券様におけるシステム障害は早期解消し、現状は安定稼働中

※当1Q時点の通期売上高達成率とは：1Q売上高（3,553百万円）と当期計上予定分の受注残高（8,290百万円）を合算した2011年6月末時点の通期売上高達成率です。

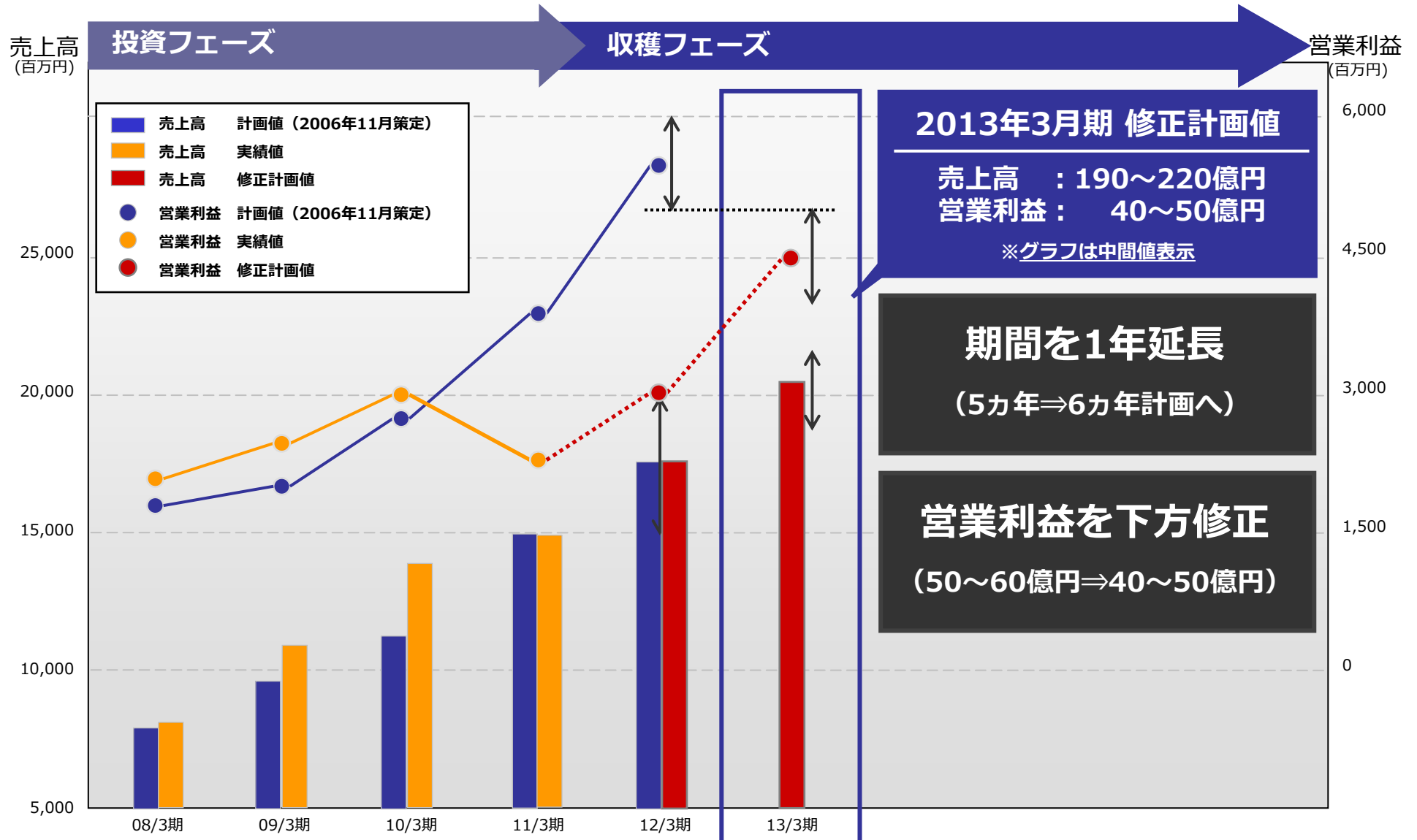
修正第二次中期事業計画

従来の第二次中期事業計画（2006年11月策定／5カ年計画）

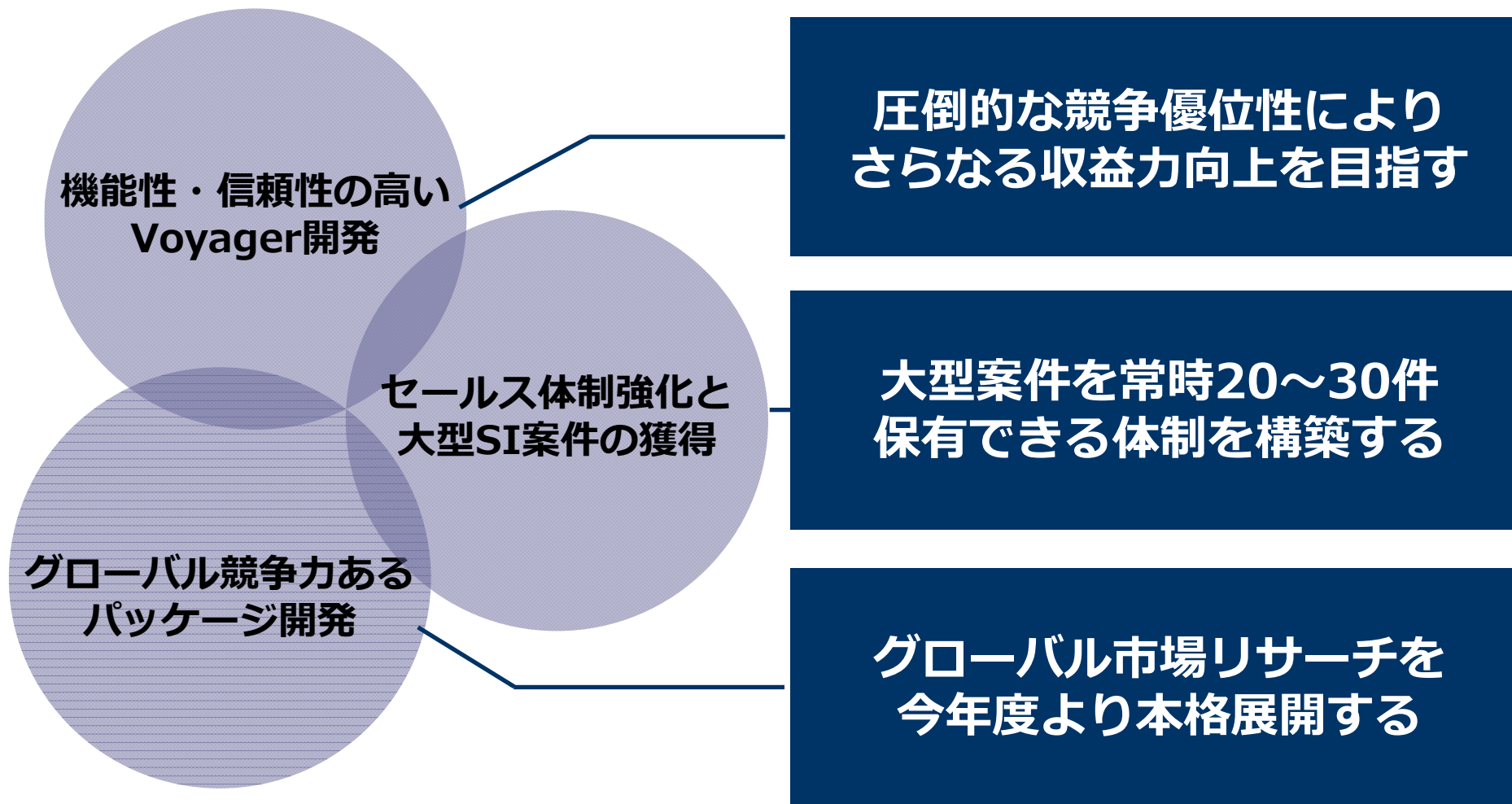


※UMS向け先行投資として、5年間で50億円程度の投資を実施することを前提としています。
 ※投資コストは各会計年度で費用化することを前提としています。

修正第二次中期事業計画 (2011年4月策定 / 5カ年⇒6カ年計画へ)



修正第二次中期事業計画の重点活動項目（2012/3期～2013/3期）



大型SI案件の獲得、Voyager：ボイジャーの販売活動に注力し
修正第二次中期事業計画（最終年度2013/3期）の目標達成を目指す

シンプレクスが目指すもの

コーポレートスローガン

イノベーションを世界へ

Hello world, Hello innovation.

■コーポレートスローガンに込めた理念

これまで世の中に存在しなかったイノベーション（革新）を
クライアントと共に追求・創造し、日本から世界に向けて発信する

5 DNA

5 DNA

イノベーションを世界へ発信する
シンプレクスの5つのDNA

1. ナンバーワン

2. クライアントファースト

3. コミットメント

4. プロフェッショナリズム

5. グローバル

上場会社初の「IR宣言」：パブリック企業としての説明責任を果たす

シンプレクス・ホールディングスIR宣言

2009年11月2日発表

- 1 IR活動を経営の最重要項目のひとつとして位置づけます。
- 2 東証一部上場のパブリック企業として説明責任を果たし、常に明瞭な企業メッセージを発信いたします。
- 3 業績動向や事業環境に関わらず、一貫して公正で信頼性の高い情報を開示いたします。
- 4 企業認知度の向上を目指すとともに、すべての利害関係者に対して公平かつタイムリーな情報開示に努めます。
- 5 株主・投資家とのコミットメントを遵守し、ゆるぎない信頼の構築に努めます。

株主の皆様との良好な関係づくりを目指した株主総会

■ 直近の株主総会

開催日：2011年6月19日（日曜日）※例年土日開催

開催場所：ホテルオークラ東京 本館1階 平安の間

当日出席株主数：291名

■ 経営陣との懇親会（株主総会直後に開催）

和やかなムードでの立食パーティ形式

株主の皆様からのすべてのご質問に経営陣が回答



<株主総会の風景>



<株主懇親会の風景>

參考資料

業績動向と配当金の推移

(単位：百万円)	2008年3月期	2009年3月期	2010年3月期	2011年3月期	2012年3月期 (見込み)
売上高	8,128 (+20.5%)	11,942 (+46.9%)	13,970 (+17.0%)	14,988 (+ 7.3%)	17,500 (+16.8%)
営業利益	2,081 (+29.0%)	2,522 (+21.1%)	3,034 (+20.3%)	2,561 (-15.6%)	3,100 (+21.0%)
営業利益率	25.6%	21.1%	21.7%	17.1%	17.7%
経常利益	2,074 (+28.9%)	2,484 (+19.7%)	3,009 (+21.1%)	2,514 (-16.4%)	3,080 (+22.5%)
経常利益率	25.5%	20.8%	21.5%	16.8%	17.6%
当期純利益	1,234 (+35.8%)	1,189 (- 3.6%)	1,844 (+55.1%)	1,448 (-21.5%)	1,700 (+17.4%)
配当金	210円	260円	400円	480円	500円
配当性向	9.8%	12.0%	11.9%	18.3%	16.2%

※ () は前年同期比です。

IR情報サイトのご案内（2011年9月にリニューアル）

The screenshot shows the top navigation bar with the Simplex logo and menu items: シンプレクス・ホールディングス, グループ・企業情報, ニュース, IR情報, 採用情報. Below the navigation is a sidebar with a table of contents for IR information, including links to investor information, business strategy, financials, and events. The main content area features a large banner with the headline '一貫したポリシーとコミットメントで 中期事業計画の業績目標達成を目指します。' and a photo of the CEO, Hidenori Kaneko. Below the banner are sections for '最新IRニュース' (Latest IR News) and '最新IR資料' (Latest IR Materials), both listing recent reports and documents with download links.

This screenshot shows the right side of the website, featuring a large banner titled 'ひと目でわかる シンプレクスの5つの特長' (5 Key Features of Simplex at a Glance). The features are listed in a numbered list: 1. IR宣言 (IR Declaration), 2. 収益力 (Profitability), 3. 顧客実績 (Customer Track Record), 4. 業績 (Performance), and 5. 成長戦略 (Growth Strategy). Below the banner are several smaller sections with icons and text, including '株主総会' (Shareholders Meeting), 'よくあるご質問と回答' (FAQ), and '個人投資家の皆さまへ' (Dear Investors). The bottom of the page contains a grid of links to various sections like 'トップメッセージ' (Top Message), '業績・財務情報' (Performance & Financials), and '中期事業計画' (Medium-term Business Plan).

URL : <http://www.simplex-hd.co.jp/ir/>

IR情報サイトでは株主・投資家のみなさまの利便性や情報提供の即時性を考慮し、最新のリリース、財務情報、決算公告、その他IR関連の資料掲載、IRブログを掲載しております。是非ご覧下さい。

本資料に掲載されている当社の計画、見通し、戦略などのうち、歴史的事実でないものは、将来の業績に関する見通しとなります。現在入手可能な情報から得られた当社の経営判断に基づくものであり、リスクや不確実性を含んでおり、実際の業績は、当社の見通しと異なる可能性があります。また、本資料は投資勧誘を目的としたものではなく、銘柄の選択、投資の最終決定は、ご自身の判断でなさるようお願いいたします。